のびのび学級　外国語活動学習指導案

令和３年２月５日（金）　第６校時

第５学年４組　１名

第６学年４組　６名

指導者　山田記央（Ｔ１）

　　　　　島田広之（Ｔ２）

（１）単元名　「What do you want？」

（２）単元の目標

　〇英語で友だちと楽しく活動ができる。

　〇あいさつや簡単な単語を英語で話すことができる。

　〇レストランでほしいもの（食べたいもの）を伝える表現や、尋ねる表現に慣れ親しむ。

評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ・ゲームやアクティビティを通じて、英語であいさつや簡単な会話をすることができる。  ・英語で食べ物の名前を言ったり、レストランで注文したりすることができる。 | ・英語をツールとして、友だちと楽しくコミュニケーションができる。  ・日本語以外の言語を使う中で、気持ちを伝え合う手段があることに気付くことができる。 | ・英語に興味を示したり、ゲームやアクティビティに積極的に参加したりしている。  ・自分の考えや相手に伝えたいことを、今まで学習した言葉や表現を用いて発表しようとしている。 |

（３）本単元の学習とのびのび学級の児童

１学期は、挨拶・歌・果物の単語などの練習を行った。ゲーム形式の活動を行い、楽しい雰囲気の中で英語に触れるようにした。

２学期以降、ゲームから英語での会話の機会を増やし、学習した内容を生かして発表する場を増やしている。例えば、質問と答えを交互に交わしたり、好きな果物を指して自分の気持ちを発表したりするなど、会話のパターンを学習してきた。

本学級は、食べ物や買い物学習に関心の高い児童が多く、劇や役割演技などが好きな児童も多いことから、楽しみながら、自然と英語を習得できるような教材として設定した。 「What do you want？」という表現で友だちの注文したいものを尋ねたり「I want～．」と自分の好きな物を答えたりする活動を通して、日常生活の延長線上で活動に関心を高めることがねらいである。本学級の児童は、難解さや複雑さを感じると、学習を拒否する傾向がある。学習の中でも特に繰り返して発音したり、読んだりする必要性の高い語学において、児童の関心に沿いながら進めていくことは必要不可欠である。

また、児童が日常生活の中で聞き慣れている英単語に限定し、カタカナで英語を示すことで、英語での発表時に児童にとって取り組みやすいように支援する。短時間の学習を繰り返し積み上げていくことで、どの児童にも慣れ親しませるとともに、アクティビティを通して日本語以外で通じ合うことの喜びを感じさせ、コミュニケーションの自信や意欲を付けさせたい。

（４）本単元における研究主題に迫る手だて

①積極的にコミュニケーションを図るための手だて

a.活動内容の工夫

のびのび学級の児童たちは宿泊学習でバイキング形式での食事を経験している。その経験を活かして、レストランでのやりとりを主の活動に設定した。店員と客に分かれて伝え合ったり、自分で選んだメニューをトレイに置いてレイアウトをしたりして、楽しいやりとりをすることが、積極的にコミュニケーション図ることにつながると考えた。

b.苦手な児童への配慮

　緊張して単語や文を忘れてしまう児童たちのために、ヒントカードを用意し、忘れたらいつでも確認できるようにして不安を解消した。ヒントカードはカタカナ表記にして、困ったときに教師が提示できるように準備した。

②外国語に慣れ親しむための手だて

a.授業構成のパターン化

　　毎授業同じ流れにすることで、児童が安心して発表したり、表現したりできると考えた。また、フラッシュカードやスライドを用いて本単元で扱う単語やキーセンテンスを繰り返し学習することで外国語に慣れ親しめるようにした。

b.歌の活用

　　年間を通して外国語の授業の冒頭で歌唱する曲や、活動を広げるために身近な単語を用いた曲を使用して、楽しい雰囲気づくりができるようにした。本単元では、授業の冒頭で「Hello　song」と「Days　of　the　week」を歌う。「英語であいさつができる。」と自信をもたせ、本時の活動内容につなげることができるように考えた。

③評価の工夫

a.行動観察

　レストランごっこを通してジャスチャーを使い、英語で楽しくコミュニケーションをとろうとしている点を評価する。また、単元の各時間のどこかで児童一人一人の発表の場を設定することで、学習に対する評価を確かに行っていく。

b.リフレクションシートの活用

　　既習の内容を振り返ることができるように、本単元では、リフレクションシートを活用し、児童の意欲的な態度や姿勢を見取ったり、本時の気付きをまとめたりすることで、評価をする。

（５）学習計画と評価計画［全５時間扱い／本時は４時間目］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動　《新出の表現》 | 評価規準【評価方法】 |
| １ | 〇食べ物の言い方を聞いたり、発音したりする。  新出単語  ≪bread／rice／natto／misosoup／sausage／omelet ／milk／juice／salad≫ | ・食べ物の言い方を聞き取っている。【観察】  ・食べ物の言い方を発表している。【観察】 |
| ２ | 〇ほしいものを尋ねたり、答えたりする表現を知り、発音する。  新出表現  ≪What do you want？ I want～．≫ | ・「何が欲しいですか」の表現を用いて、会話に取り組んでいる。【観察・リフレクションシート】 |
| ３ | 〇ほしいものを尋ねたり、答えたりする表現を知り、発音する。 | ・「何が欲しいですか」の表現を用いて、会話に取り組んでいる。【観察・リフレクションシート】 |
| ４  (本時) | 〇既習の表現方法を使ってレストランごっこをする。 | ・友だちと楽しく英語を使ってレストランごっこをしている。【観察】  ・相手の欲しいものを聞くことができる。【観察・リフレクションシート】 |
| ５ | 〇自分の選んだ食べ物を発表する。 | ・簡単な英語を使って、自分の欲しいものを言うことができる。【観察・リフレクションシート】 |

（６）本時の展開（４／５時）

①本時の目標

・英語で楽しみながら友だちと活動することができる。

・What do you want？　I want～．の英語表現等を使って、相手の欲しいものを尋ねたり、自分が欲しい食べ物を伝えたりすることができる。

②本時にめざす児童の姿とそのための具体的な手だて

　　・衣装や小道具を用いて、場面のイメージを補助する。

・英語表現のみに限定しないコミュニケーションを許容する。

　　・フラッシュカードで反復練習する。

③本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | | 〇学習活動 | ・指導上の留意点  ☆評価  【】評価方法  ●手だて |
| Greeting  （４分） | | 〇今日の日付・天気・曜日の確認をする。  〇英語を学習する上で大切なことを確認する。  ・Hello.  ・How are you?  ・How is the weather?  ・What day is it today?  ・What is the date today? | ・笑顔で元気よく挨拶を交わすことにより、児童に授業の始まりを意識させるようにする。（Ｔ１）  ・既習の表現を思い出させるように、単語カードで振り返りを行う。（Ｔ１）  ・困っている児童に援助する。（Ｔ２）  ●手だて①b |
| Singing  （５分） | | 〇歌を歌う。  ・Singing Hello song.  ・Days of the week. | ・意欲的かつ楽しく活動することができるように教師も一緒に行う。  （Ｔ１・Ｔ２）  ●手だて②b |
| Review  （１０分） | | 〇単語の復習をする。  食べ物(bread/rice/natto/misosoup/ omelet/sausage/soup）  果物 （**apple/strawberry/**o**range/**  **kiwi/grapefruit/**m**ango/ pineapple/banana/peach)**  飲み物 （milk/juice/tea） | ・食べ物では、児童の興味を惹くように提示の仕方を工夫する。（Ｔ１）  ●手だて②a  ・発音ができない児童には、近くで教える。（Ｔ２）  ●手だて①b |
| Key sentence  （５分） | | 〇教師の会話例を見て、今日のめあての確認をする。  客 Hello.  店　Hello.  店 What do you want?  客　I want～．  店　How many～？  客　〇〇please.  店　Here you are.  客　Thank you. | ・場面設定を行う。  ●手だて①a  ・今日のめあてを確認する。  ・デモンストレーションで見本を示すことで、児童が活動内容をより理解できるようにする。Ｔ１は店員、Ｔ２は客。 |
| Today’s goal  （１分） | | 〇今日のめあてを確認する。  Today’s goal: レストランごっこをしよう |  |
| Activity  （１５分） | | ①キーセンテンスの練習を行う。  ②店員と客が前半と後半に分かれて活動をする。  前半　Ａチーム→店員  Ｂチーム→客  後半　Ｂチーム→客  Ａチーム→店員  ③選んだ絵カードをトレイにレイアウトする。 | ・忘れた児童には、ヒントカードを提示する。（Ｔ２）  ●手だて①b  ・レストランの準備や片付けができるように指示をする。  （Ｔ１）  ・店員役の児童のフォローと児童の活動の様子や、会話の様子を観察する。（Ｔ１）  ●手だて③a  ・場の設定や客役の児童のフォローをする。（Ｔ２）  ☆友だちと楽しく英語を使ってレストランごっこをしている。【観察】  ☆相手の欲しいものを聞くことができる。【観察】 |
| Reflection  （５分） | 〇学習したセンテンスについて復習し、発表をする。  〇振り返りカードを使い、今日の学習の振り返りを行う。 | | ☆簡単な英語を使って、自分の欲しいものを言うことができる。【観察】  ・書ける児童には、感想も記入するように伝える。  ●手だて③b |

（７）その他

レストラン時の座席図

黒板

Ｔ１

Ｔ２

テーブル

テーブル

ヒントカード

店員用

|  |  |
| --- | --- |
| １ | ハロー！  Ｈｅｌｌｏ！ |
| ２ | ワット　ドゥー　ユー　ウォント？  Ｗｈａｔ　ｄｏ　ｙｏｕ　ｗａｎｔ？ |
| ３ | ヒア　ユー　アー  Ｈｅｒｅ　ｙｏｕ　ａｒｅ　． |

　お客さん用

|  |  |
| --- | --- |
| １ | ハロー！  Ｈｅｌｌｏ！ |
| ２ | アイ　ウォント　～  Ｉ　ｗａｎｔ　～　　　　． |
| ３ | センキュー  Ｔｈａｎｋ　ｙｏｕ　． |